

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)厚木森の里A-1プロジェクト 新築工事	階数	地上2F
建設地	厚木市下古沢地区厚木都市計画事業厚木市森の里東土地 区画整理事業1街区1画地・2画地	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	275 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2019年5月 予定	評価の実施日	2018年1月9日
敷地面積	53,485 m ²	作成者	大和ハウス工業㈱
建築面積	29,177 m ²	確認日	2018年1月10日
延床面積	31,431 m ²	確認者	大和ハウス工業㈱



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.9

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
LED器具を採用し、省エネ性能を向上させた建築物となっている。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 長寿命の配管を積極的に採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 緑化に取り組んでいる。
LR1 エネルギー BEIm 0.67	LR2 資源・マテリアル 節水器具を積極的に採用。 LGS+ボード仕上により、建築部材の再利用可能性の向上に取り組む。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率: 84%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される